

古典文法トレーニング 長文課題 品詞分解と現代語訳

大問六（出典：『竹取物語』）

◎品詞分解（名詞は基本的に非表示。非活用語は基本的に初出のみ。同色の助詞は同内容であることを示す。）

竹取 格助(体修) の 翁、竹 格助(体修) を取るに、この子 カ下二・用接助(名) を見つけて後 ラ四・体接助(偶然) に竹取るに、ふし タ下二・用 を隔てて節 よ ごとに金 ニがねラ変・体 ある竹 カ下二・体 を見つけること ラ四・用完了・終 重なりぬ。かくて翁 副 やうやう豊 ナリ・用ラ四・用カ四・終 かになりゆく。

この児 ハ四・体、養 副 ぶ程 ナリ・用おラ四・用ラ四・終 に、すくすくと大 副 大き ナリ・用おラ四・用ラ四・終 になりま 副 する。三月 副 ばかり 副 になる程 ラ四・体 に ク・体 よき程 断定・体 なる人 ラ四・用完了・口接助(偶然) になりぬれば、髪

上げ 副助(さう)(手変・思) など左右 副 して、髪 ガ下二・未使役・用 上げさせ、裳 もぎ 着 サ変・終 す。帳 格助(係助) の内 係助(サ四) よりも出 カ四・用ハ四・終 ださず、いつ カ四・用ハ四・終 き養 カ四・用ハ四・終 ぶ。この児 格助(主格) の容 かたち 貌

けうらなること ナリ・体 世 ク・用 になく、屋 体助(ク) の内 ク・体 は暗 ク・用ラ四・用タ四・用存続・終 き所 ク・用ラ四・用タ四・用存続・終 なく光 ク・用シク・体 り満 ク・用シク・体 ちたり。翁 ク・用シク・体、心地 ク・用シク・体 あしく苦 ク・用シク・体 しき時 ク・用シク・体 も、この子 ナリ・用ラ四・用完了・已 を見 マ上・已接助(偶然) れれば、

苦 シク・体 しきこと マ四・用完了・終 やみぬ。腹 シク 立た シク しきこと マ四・用過去・終 も慰 マ四・用過去・終 みけり。

翁 ラ四・体、竹 ラ四・体 を取る シク こと ラ四・用完了・終 久 シク しくなりぬ。いき ラ四・用完了・用過去・終 ほひ猛 ラ四・用完了・用過去・終 の者 ラ四・用完了・用過去・終 になり ラ四・用完了・用過去・終 にけり。この子 副 いと大 ナリ・用ラ四・用完了・已 大き ナリ・用ラ四・用完了・已 になりぬれば、名 ラ四・用完了・用過去・終 を

三室 みむろどいんべ 戸 ハ 齋 シ 部 ベ の秋 バ四・用 田 カ下二・未使役・終 を呼 カ下二・未使役・終 びて付 カ下二・未使役・終 けさ カ下二・未使役・終 す。秋 カ下二・未使役・終 田 カ下二・未使役・終、な カ下二・未使役・終 よ竹 カ下二・未使役・終 のか カ下二・未使役・終 ぐ カ下二・未使役・終 や姫 カ下二・未使役・終 と付 カ下二・未使役・終 けつ。この程 ガ下二・用バ四・終 三日 ガ下二・用バ四・終 うちあ ガ下二・用バ四・終 げ遊 ガ下二・用バ四・終 ぶ。よろ ガ下二・用バ四・終 づ

の遊 係助(サ変・用過去・体) び 係助(サ変・用過去・体) を 係助(サ変・用過去・体) ぞ 係助(サ変・用過去・体) し 係助(サ変・用過去・体) ける。男 ハ四 は受 ハ四 け嫌 ハ四 は ハ四 ず ハ四 呼 ハ四 び ハ四 集 ハ四 へ ハ四 て、いと 副 か 副 し 副 こ 副 く遊 副 ぶ。

◎現代語訳（↓『ステップアップノート30 古典文法トレーニング』参照）